

地域社会との「絆」のために

地域に根ざした社会貢献活動の推進

お客さまが暮らす「社会」や「環境」をもっと豊かに、安心できるものとするために、地域住民のみなさまや行政、NPOなどと協力しながら、それぞれの地域の特性やニーズに合致した多彩な社会貢献活動を展開して、広く社会や地域のみなさまとの絆を深めていきたいと考えています。



① 釧路の宝を守れ! 釧路湿原「自然の番人宣言」

釧路支社

釧路支社では、釧路湿原などでごみの不法投棄などの廃絶をめざした「自然の番人宣言」の賛同企業第一号として2007年に名乗りをあげました。2008年は「森と川の月間」



で塘路湖周辺の清掃活動に参加しました。

② 「元気ショップ」企業初のサポーターへ

札幌支社

札幌支社では、障がいのある人たちがつくった製品を展示、販売する「元気ショップ」のサポーター第一号として、札幌市に認定を受けました。障がいのある人たちの自立を応援しています。



③ 車いす使用者用駐車場 利用マナーアップ キャンペーンに参加

沼津支社

沼津支社では、車いす使用者以外の方が車いす使用者用スペースへの駐車をしないう、静岡県が推進する「私は停めません」宣言に共感し、車にワッペンを貼るなどマナーアップの向上に取り組んでいます。



④ 「花いっぱい運動」で 地域に彩りを

松本支社 山口支社

松本支社・山口支社では「花いっぱい運動」に賛同しています。メインストリートや各事業所前に設置した花壇に季節ごとに苗を植え替えて、地域



松本支社

に彩りを添えています。



山口支社

⑤ チャリティバザー収益金で 車いすを贈呈

金沢支社

金沢支社では社内でチャリティバザーを開催し、その収益金で、社会福祉協議会を通じて石川県内の四つの特別養護施設に、計8台の車いすを贈呈しました。



⑥ 大切な命のために 救命講習に参加

旭川支社 神戸支社 奈良支社

奈良支社等では、各自治体の消防署や防災センターのご協力のもと、AED*の使用方法や応急処置普及講習を受講。支社の従業員の半数以上が修了証を取得し、万が一の場合に役立てるよう取り組んでいます。



奈良支社

*AED:心臓停止状態に陥った人に電気ショックを与えて蘇生させる医療機器「自動体外式除細動器」

地域社会との「絆」のために

地域に根ざした 社会貢献活動の推進

- 「ペットボトルキャップ回収」参加拠点
- 「あしながPウォーク10」参加支社



7 警察署と共同で 「全席シートベルト着用」を 呼びかけ

徳島支社

徳島支社羽ノ浦営業所では、当社の「子どもの命・安全を守る」地域貢献活動に共感いただいた阿南警察署の方々とともに、「全席シートベルト着用」をチラシ・ティッシュを



配りながら地域住民の方々に呼びかけました。

8 病気で入院する子どもをもつ ご家族のために

高知支社

高知支社では病気で入院治療を受ける子どもをもつご家族のための宿泊施設「ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち」の清掃ボランティアや生活物資などの寄付をしています。清掃ボランティアでは施設内のハウスキー



ピングや施設周辺の清掃活動を行いました。

9 高齢者との 心のふれあいを大切に

鹿児島支社

鹿児島支社では、老人ホーム・養護施設へ訪問し、ご老人の方々と一緒に折り紙をすることで心を通わせました。また、施設にぞうきんやタオルを寄付したり、施設周辺の草むしりや清掃活動にも取り組みました。



● ペットボトルキャップの回収で CO₂削減と世界の子どもに ワクチンを

全国各地

全国各地の44所属で、ペットボトルキャップの回収に取り組んでいます。キャップ800個につき一人の子どもにポリオワクチンを提供できます。立川支社では、この活動に対してNPO団体から感謝状を贈呈されました。



立川支社

全国各地で清掃活動を実施

全国各地

全国各地の拠点で、ビルや駅周辺などの清掃・美化活動を行なっています。

関連会社の(株)MYJでは、毎月1回約100人の職員が当社東陽町ビル周辺の清掃活動を実施し、地域の美化に努めています。

上野支社では、台東区の「大江戸清掃隊」として日常的な清掃活動を積極的に行なうほか、「七夕祭り」や「浅草サンバカーニバル」開催時に清掃活動をしなが、まちの環境美化を呼びかけています。

■ 「あしながPウォーク10」に参加して 国内外の遺児を支援

全国各地

「あしながPウォーク10」に、2007年の春・秋合計で全国延べ34支社1,051人が、2008年春には全国22の支社などから781人が参加しました。これは「あしなが育英会」が主催する活動で、国内外の遺児の現状を訴えて行進し、寄付を募ります。参加した従業員は10キロのウォーキングやイベントに参加するとともに、遺児への寄付を行ないました。

(参加支社:秋田・山形・群馬・熊谷・大宮・立川・甲府・新潟・富山・金沢・福井・長野・松本・静岡・津・大阪南・京阪・神戸・奈良・鳥取・松江・高松・高知・北九州・長崎・大分・宮崎・東京本部)

地域社会との「絆」のために

子どもの命・安全を守る活動

全国各地で事業を営む企業として地域の安全・安心に貢献できるよう、行政や地域の方々と連携を図りながらさまざまな活動を展開しています。

日々の営業活動のなかで
地域を見守っています

地域の防犯に貢献するために

子どもたちが登下校中に事件・事故に遭う事態を防ぐために、登下校の時間帯に地域で営業活動をしている当社としてできることはないか——。そのような思いから、2006年6月から明治安田生命労働組合と連携して「子どもの命・安全を守る」地域貢献活動に取り組んでいます。

この活動で、MYライフブランドアドバイザーは、地域で営業活動をするときにネームタグを携行して地域防犯への意識を高めています。これには犯罪行



ネームタグ・防犯笛

為へのけん制効果も期待されています。また、携帯電話に最寄りの警察などの電話番号を登録するほか、不測の事態に備えて防犯笛を携行し、危険を察知した場合などにはただちに地域行政や近隣へ情報を伝達して連携できる態勢をとっています。

全国で「こども110番」を設置

全国各地で警察と連携して、立地などが適した営業所に「こども110番」を設置し、子どもの安全に貢献できるよう努めています。

「だいたいようぶキャンペーン」への協賛

“安心安全の輪を広げよう”をテーマに子どもを犯罪や災害から守る地域づくりをめざす「だいたいようぶキャンペーン」に2007年10月から協賛しています。

このキャンペーンの一環として、2008年から当社が主催して支社での「地域安全マップづくり教室」を実施しています(次ページで参照)。

「地域安全マップづくり教室」を開催しています

子どもたちの自衛能力を養うために

「子どもの命・安全を守る」地域貢献活動を発展させて、2008年から「地域安全マップづくり教室」を開催しています(後援:だいたいようぶキャンペーン実行委員会、協力:NPO法人地域安全マップ協会)。

「地域安全マップづくり」は「犯罪機会論」を応用した教育プログラムであり、犯罪が起きやすい「場所」を子どもたちが自ら見分け、危険を回避できるようにしようというものです。考案者である立正大学の小宮信夫教授らが、全国各地で教育機関や警察と連携しながら普及を進めています。

当社が主催する教室では、小宮教授

を講師に招いて、親子での参加を公募。参加者は、講義とフィールドワーク、マップづくりを通して「危険な場所」を避けるための考え方を学びます。「危険な場所」の説明が「入りやすい」「見えにくい」という二つのキーワードでなされ、子どもたちにも容易に理解できます。

2008年1月に千住支社、9月に八王子支社、江東支社で開催し、合計で子ども103人、保護者65人が参加しました。地域の安全について親子が一緒に考え、学ぶ機会として、今後も引き続き全国各地で開催していきます。



マップづくり。撮影してきた写真に説明を書き添えることで学習効果が高まります。

講師の方の声

各地での指導や情報発信に、企業の協力を期待しています

「不審者」を警戒するという従来の考え方には、本当に犯罪傾向のある人を犯行前に正確に特定しづらいという問題があります。「地域安全マップづくり」は、いかなる人にも犯行の場所(機会)を与えないという危機回避策を身に付けようという取組みです。

普及にあたっては、この考え方を正しく理解した指導者の育成が重要です。従業員のみならずには、犯罪機会論に触れてご自身の安全を図ると同時に、お住まいの地域で学校の指導に協力したり、営業活動で接する方々へ情報発信して下さるよう期待しています。



立正大学
文学部社会学科教授
(社会学博士)
小宮 信夫 氏